

ARAI NEWS



チェック 1 転倒して塗装が剥がれるほど大きな衝撃をうけていませんか？
 まずは外観です。外観の樹脂は、SQ、SL、SFLなど、一般的にFRP製とよばれるものは、大きな衝撃さえ受けてなければ、長い間使っていても、性能は新品時のままだと考えて間違ありません。但し、一度でも大きな衝撃を受けたヘルメットは、樹脂だけでなく顔面体も傷んでいます。ヘルメットだけを床に落とした程度なら大丈夫ですが、転倒して塗装が剥がれるような衝撃を受けたり、たとえ表面塗装が付いていなくても、顔にガツとくるような衝撃を受けた経験があるなら、そのヘルメットは役目を果たしたと考え、必ず交換して下さい。

チェック 2 塗装面は汚れていませんか？
 塗装面の汚れは、ワックス等で磨き上げれば綺麗になります。参考までに、レーシングサービスマン、レーサーのヘルメットを磨く際にはコンパウンド入りの金属磨き材を使用しています。



チェック 3 シールドの動きはスムーズですか？
 シールドは、取り付け部の具合を確かめて下

さい。もし動きが悪いようならば、ヘルメット本体の窓ワック部分やホルダーの内側にシールドと触れる部分に付属シリコンを塗れば、動きがスムーズになります。

チェック 4 シールドは汚れていませんか？
 シールドの汚れは、丁寧に水洗いして落とすのが一番確かです。傷がひどいようなら交換しておきましょう。夜間、対向車のライトを受けた時など、視界の妨げになり危険です。もしラバイドやアストロVをお持ちならば、シールドを交換する際に、「アドシスキット」をお付けになることをお奨めします。アドシスならば、道具をそろえて簡単にシールド交換ができるので、シールドの手入れも楽になり、夜間はスモークで、夜間はクリアへと簡単に交換可能だから安全走行にもつながります。

■アドシスNタイプキット(ラバイド用) ¥5,400
 ■アドシスLタイプキット(アストロV用) ¥5,400

チェック 5 顔面体が浸されていませんか？
 内装の中で最も大切な働きをする顔面体は発泡スチロールで出来ています。これは衝撃吸収性に大変優れた材質ですが、油や溶剤に弱いのが欠点です。長い間には顔面体にも浸されてくる場合があります。顔面体の表面がべとつくようになったり、傷、へこみなどがひどい場合は性能はかなり劣化しています。ヘルメットの寿命がきたと考え、必ず交換して下さい。

チェック 6 クッション材がヘタっていませんか？
 頭にじかに撞して、ズレやムレを防いでいるクッション材が、かぶってぐらつくほどヘタっているようなら、内装の内側にスポンジ等を貼っておくのも良い方法です。それを顔面体に止めておくには両面テープを使用して下さい。市販されている換気材のほとんどは、その溶剤が顔面体を侵してしまう恐れがあり



ます。メーカーに問い合わせを確認しないかぎり使わない事です。もちろんアストロRやSZならば、オプションのシステムパッドやイヤパッドでサイズ調整ができます。

チェック 7 クッション材が汚れていませんか？
 クッション材の汚れは、通常のヘルメットならば、洗面器一杯のぬるま湯に中性洗剤を少し入れ、タオルを濡してから拭き取って、汚れ等を拭き取って下さい。その後、真水でゆすいだタオルでもう一度拭き、洗剤分を取り除き風通しの良い所で日陰干しさせます。アストロRやSZ、MX-2のような丸洗い出来るモデルならば、中性洗剤を溶かした水で洗い、真水で流してから、自然乾燥させて下さい。但し、長時間の直射日光に当たると衝撃吸収体に影響を及ぼす事がありますのでご注意ください。

チェック 8 アゴヒモもチェックしましょう
 外人レーサーはかぶる際、アゴヒモをギュッと握って思い切り強く引っ張っています。しっかりとまっているのを確認すれば気分的にも安心できるからでしょう。但し、同じようなチェックをするなら決して内側方向や上向きに引っ張らない事です。無理に引っ張るとアゴヒモの取り付け金具が変形してしまう可能性があります。



以上のチェックで、少しでも気になるような点があったらメーカーの専門家に確かめてもらうようお奨めします。アフターサービス受付の窓口は品質管理課です。製法を安心してお使いいただく上で、気軽にご利用いただけるよう直営電話もあります。製品に関する事でしたらご遠慮なくお申し付け下さい。
 さあ、バイクシーズンの到来です。マシンの整備もめりなく、安全運転を心がけてバイクライフをエンジョイして下さい。アライもお手伝いします。

バイクシーズン到来 あなたも出来るヘルメットチェックとメンテナンス

(株)アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL (048) 641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です。
 製品の事なら、お気軽に二番線ください。
 直営 TEL (048) 645-3661